９．気づくこと、感じること、考えること、行動すること

みんなが暮らしている社会や、もっと大きな社会の中にしあわせを妨げるもの（障害）はたくさんありますが、一人ひとりがお互いに助け合い、支え合うことができれば豊かでしあわせな社会を創れるのではないでしょうか。

反対に、あきらめたり、無関心で誰かに任せっきりにしたり、誰かのせいにしてばかりだと、いつまでたってもしあわせに暮らしていくことができません。

学校での福祉学習に協力してくれているある障害者の方が「福祉っていうと、すぐ障害者とか高齢者のことって考えるのは、変だと思うよ。それよりも、例えば、仲間はずれの子のことや仲間はずれにする自分の心を考えることも福祉じゃないかな」と話していました。

『誰もが住み慣れた地域で、自分らしく安心してしあわせに暮らしていく』
そのことに関心を持ち、そのために自分たちにできることについて考えてみましょう。